

2024年8月7日

各位

会社名 株式会社フルヤ金属
代表者名 代表取締役社長 古屋 堯民
(コード番号：7826)
問合せ先 執行役員総務・CSR部長 西村 勉
電話 03-5977-3377

中期経営計画の概要に関するお知らせ

当社は、2024年8月7日開催の取締役会において、2025年6月期から2027年6月期を対象とした中期経営計画の概要について、別紙のとおり決議したので、お知らせいたします。

以上



中期経営計画2027

(2025/6期～2027/6期)

2024年8月7日

株式会社フルヤ金属

1

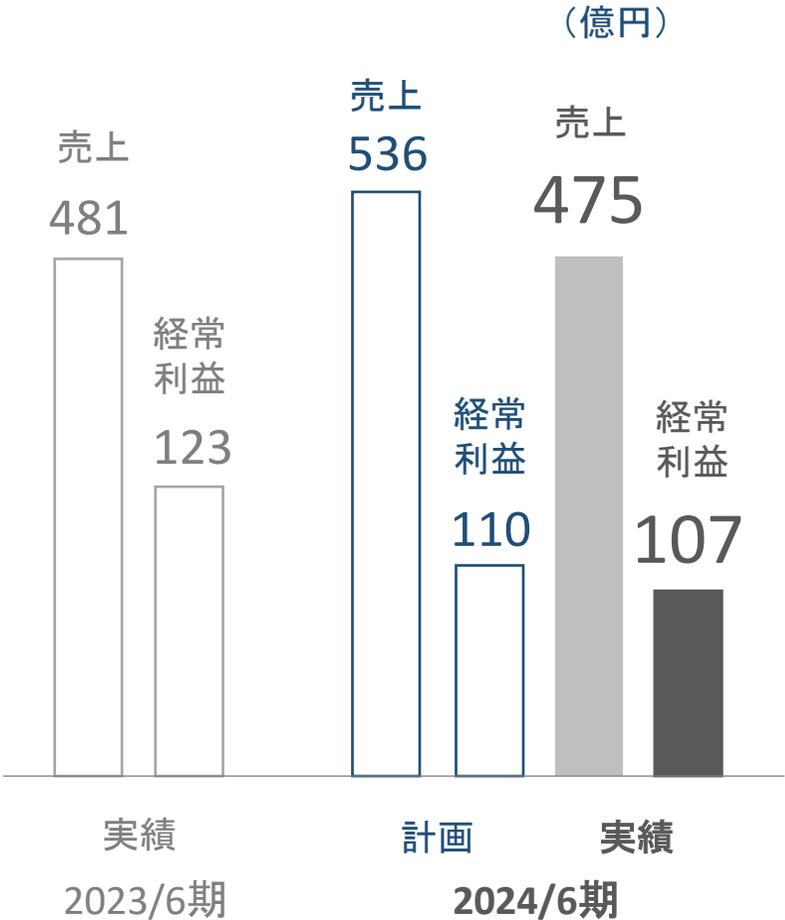
中期経営計画2026(2024/6期)振り返り

2

中期経営計画2027(2025/6期-2027/6期)

中期経営計画2026(2024/6期)振り返り①業績

売上及び経常利益



環境変化

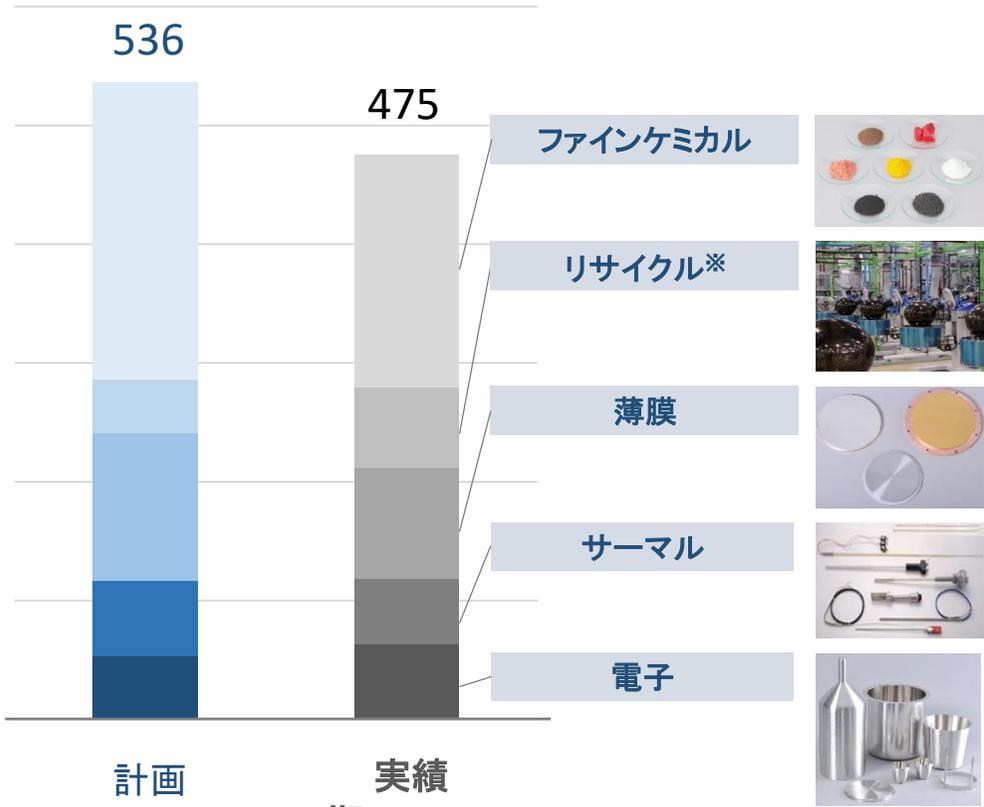
- (一) エレクトロニクス・通信・半導体市場での在庫調整の継続・回復遅れ
- (一) 貴金属価格高止まりによる購入買い控え
- (十) 為替変動 急速な円安への進行



中期経営計画2026(2024/6期)振り返り①業績

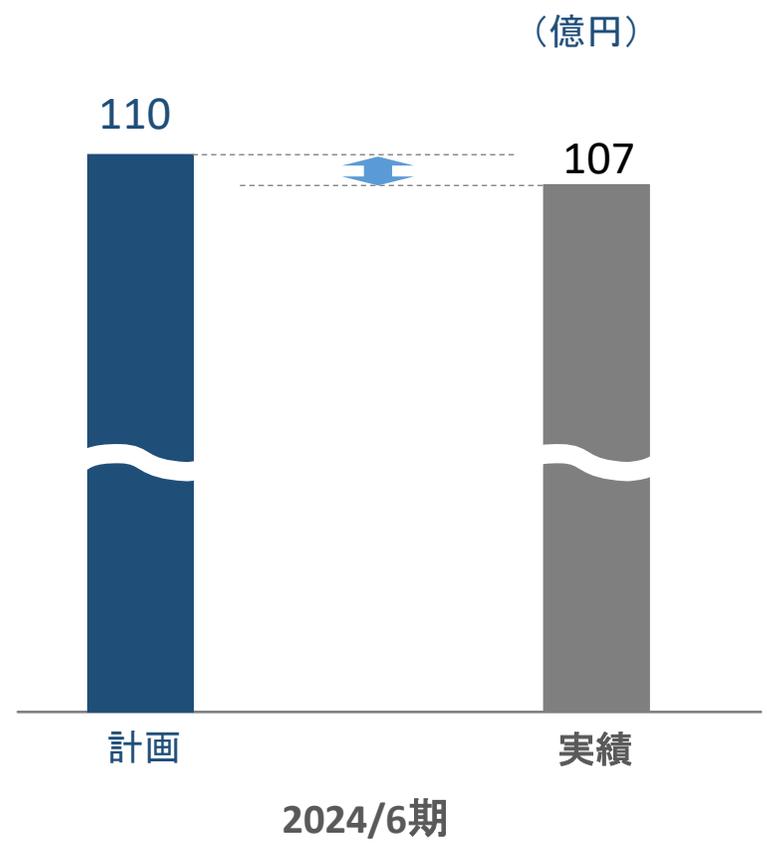
売上高

売上目標は未達
 減少要因：貴金属価格高止まりによる購入買い控え



経常利益

減少要因：主要市場の在庫調整継続・回復遅れ
 増加要因：円安基調



* "リサイクル" はその他(サプライチェーン支援)売上を含む



中期経営計画2026(2024/6期)振り返り②設備投資・利益の戦略的配分

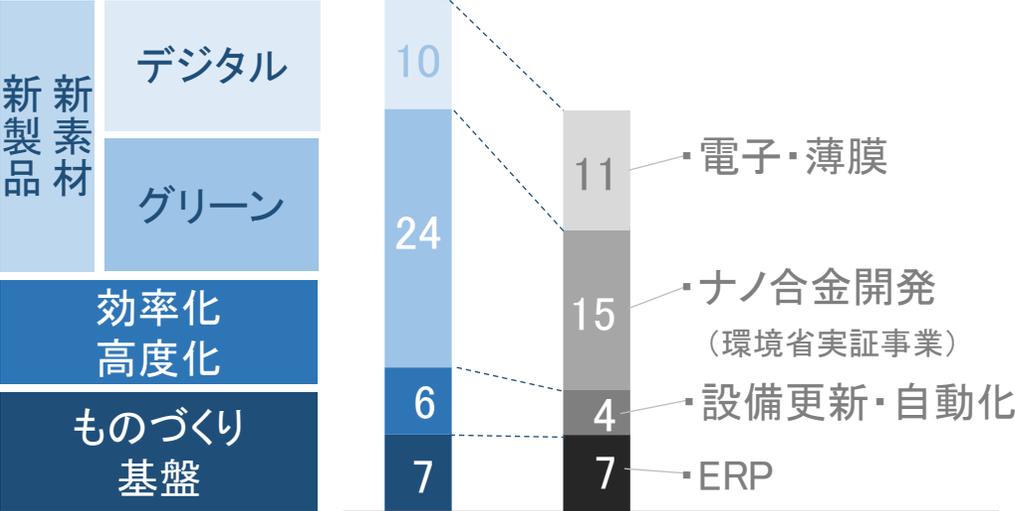
設備投資・研究開発

産業動向を踏まえ、グリーン関連投資の一部が遅れているものの、2025/6期には実行予定

利益の戦略的配分

利益は新製品向け投資、グリーン地金、配当へ戦略的に配分

2024/6期
計画 実績 (億円)



2024/6期 実績 (億円)



※デジタル・グリーン向け貴金属原材料

計 47 37



1

中期経営計画2026(2024/6期)振り返り

2

中期経営計画2027(2025/6期-2027/6期)

目次

経営理念・基本方針

中期経営計画の位置付け

環境認識と課題

基本戦略

ありたい姿

3年後の目指す姿

5本柱経営の進化

事業戦略

成長ドライブ

海外売上比率

ものづくり成長投資

SDGs

CO₂排出量削減

財務指標・株主還元

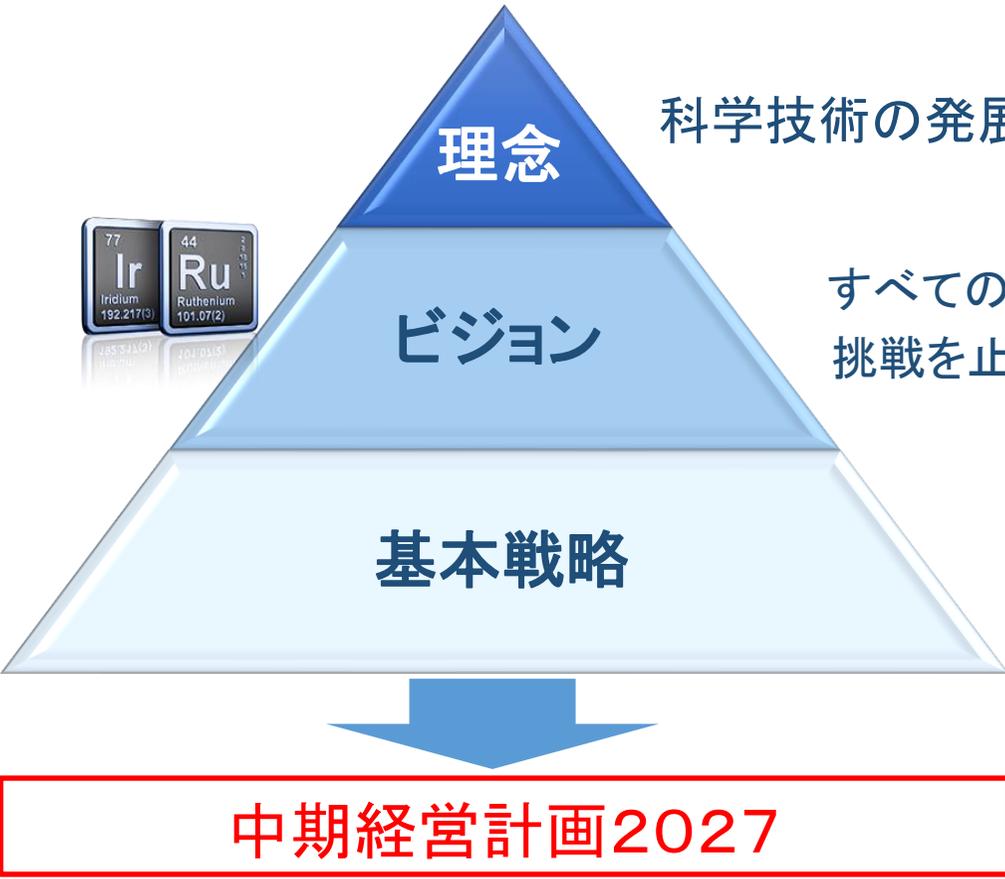
財務指標

主要数値

中期経営計画の位置付け

中期経営計画は、「企業理念 ⇒ ビジョン ⇒ 基本戦略」を実現する実行計画の位置づけ

【企業理念体系】



科学技術の発展に寄与し 社会の繁栄に貢献する

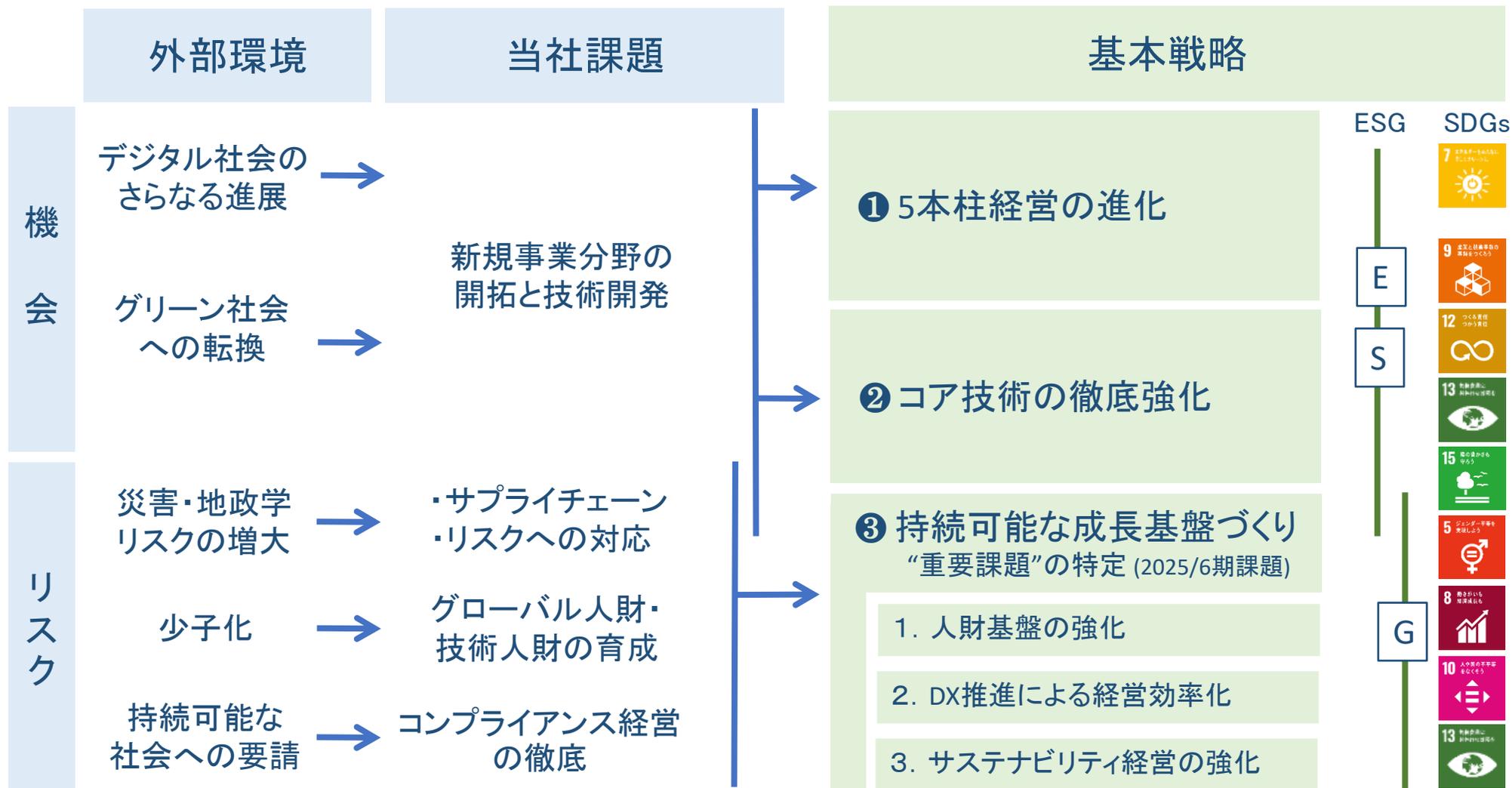
すべての面でイリジウム、ルテニウムで世界No.1
挑戦を止めない“永遠のベンチャー企業”

- ① 5本柱経営の進化
- ② コア技術の徹底強化
- ③ 持続可能な成長基盤づくり

中期経営計画2027

環境・課題認識と基本戦略

社会の変革に貢献すべく ① 5本柱経営の進化 ② コア技術の徹底強化
③ 持続可能な成長基盤づくりに取り組む



基本戦略① 5本柱経営の進化

一つ一つの“柱”の強化と相互連携によるシナジーで強固な経営基盤を構築
 グリーン・デジタルなど新規分野の開拓で“新たな柱”を創出



電子



サーマル



薄膜



リサイクル



ファインケミカル

グリーン社会の
実現に向けて

デジタル社会の
さらなる進展に
向けて

現在地 (2024年)

第一ステージ (1968 - 2000年)

第二ステージ (2001 - 2020年)

第三ステージ (2021年 -)

- ・(株)フルヤ金属設立 (1968年)
- ・工業用貴金属に参入 (1975年)
- ・Irルツボ開発に成功 (1981年)

つくば工場設置 (1990年)



JASDAQ証券取引所へ上場 (2006年)
土浦工場設置 (2007年)



千歳工場設置 (2010年)



経済産業省
グローバルニッチトップ企業
100選 (2014、2020年)



東京証券取引所
スタンダード市場からプライム市場へ
上場区分の変更 (2023年)



基本戦略②: コア技術の徹底強化

5本柱経営・資源循環ビジネスを根底で支える、加工・再生のコア技術を徹底的に強化

コア技術: 加工

高品質熔解・焼結技術



コア技術の徹底強化

コア技術: 再生

高純度精製技術

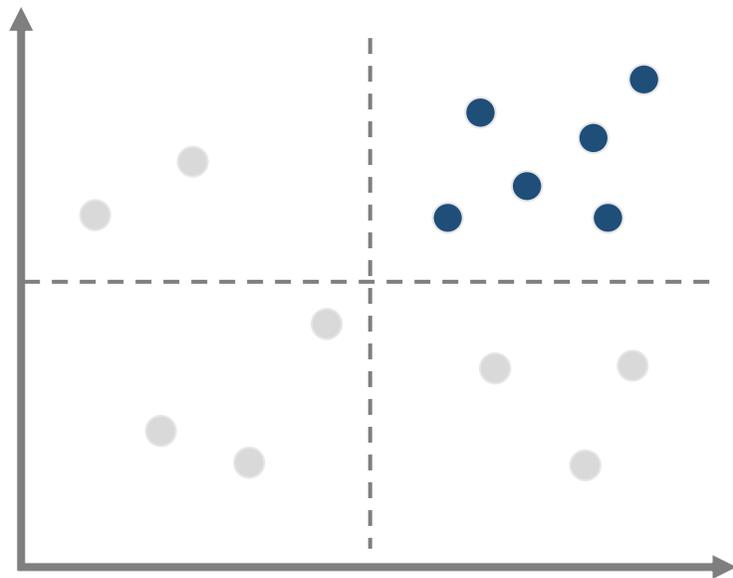


基本戦略③ 持続可能な成長基盤づくり-“重要課題”の特定

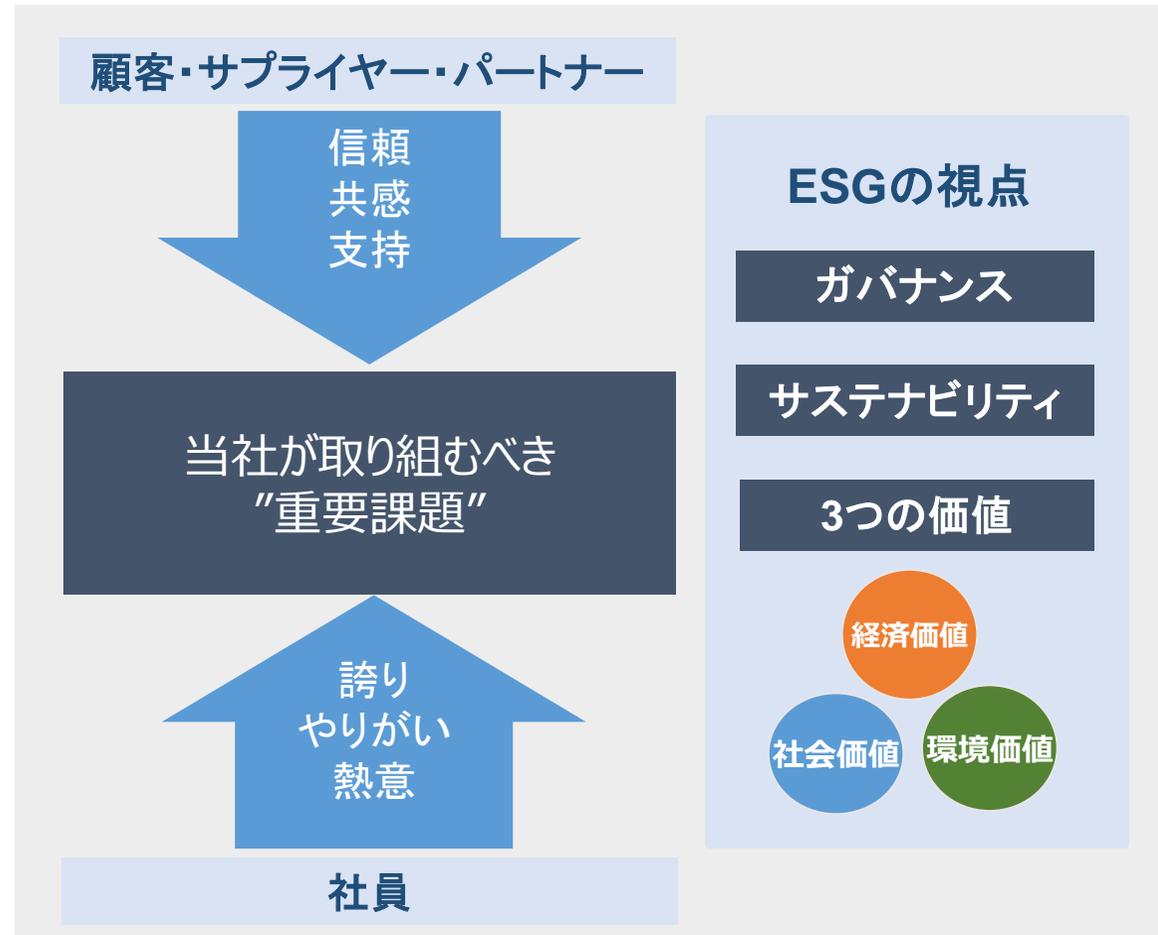
社内外ステークホルダーの共感・支持が得られる“重要課題”を特定し、
目標と達成指標を定めPDCAを回すことで、着実に課題を解決
(2025/6期取り組み)

当社及びステークホルダー双方に
とっての重要課題を抽出

ステークホルダーに
とっての重要度



当社にとっての重要度



基本戦略③ 持続可能な成長基盤づくり-“重要課題”(案)

経済価値をベースとし、同時に社会・環境価値を実現する”重要課題”を特定
(2025/6期取り組み)

“重要課題”(案)

価値組合せ	重要課題	目標・指標
 経済価値 ×  社会価値	①Ir/Ruグローバルニッチトップの独自技術で高付加価値ビジネスを創出	世界トップシェア製品比率 など
	②人権を遵守し、多様な人財が働き甲斐を感じる職場環境を構築	女性管理職比率、新卒採用の女性比率、障害者雇用率、賃金向上率 など
	③グローバル課題の発掘・解決に挑み続ける人財の育成	重点教育プログラム（経営、語学、科学技術等）の設定、プログラムの履修率 など
 経済価値 ×  環境価値	①希少なPGM※を無駄なく、無理なく使う資源循環ビジネスを確立	製品のLCA（ライフサイクルアセスメント）の把握、製品のリサイクル比率 など
	②地球環境の保全に貢献する新製品の開発と社会実装の推進	カーボンニュートラル・環境保全に貢献する製品比率 など
	③省エネでクリーンなものづくり	グリーンエネルギーの導入率、社内で発生するCO ₂ の削減率 など

※ PGM：プラチナグループメタル

基本戦略③-1 人財基盤の強化

当社が目指す人財像：“先見力と創造力”に優れ、課題の発掘・解決に挑み続ける人財

“多様性”と“機会の平等”を基本方針とし、一人一人の個性を生かし互いを尊重しながら成長を目指す環境を醸成

採用・環境・育成
三位一体の人財基盤づくり



採用

- ・人材の“質”を重視した採用
- ・新卒・中途における女性採用の拡大
- ・リファラル採用の推進

人財基盤 環境

- ・育児・介護休業の取得推進、有給休暇取得率向上
- ・社員エンゲージメントの可視化
- ・データベースによるタレントマネジメント推進

育成

- ・自ら選び、自ら学ぶ教育ツールの充実
- ・質の高い現場経験に基づく自律的成長
- ・女性活躍推進(女性管理職の育成と抜擢)

基本戦略③ー2 DX推進による経営効率化

基幹システムの全面改訂およびAIの活用等のDXを推進することで
情報基盤および情報セキュリティを強化

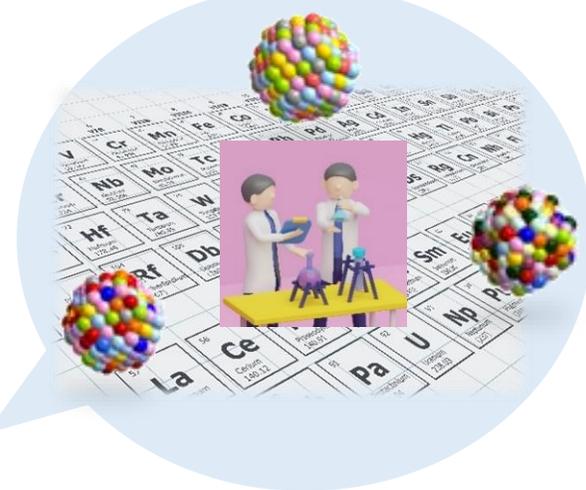
管理部門のDX
(財務・人財情報管理など)



製造部門のDX
(自動化・安全対策など)



研究部門のDX
(新材料・プロセス探索など)



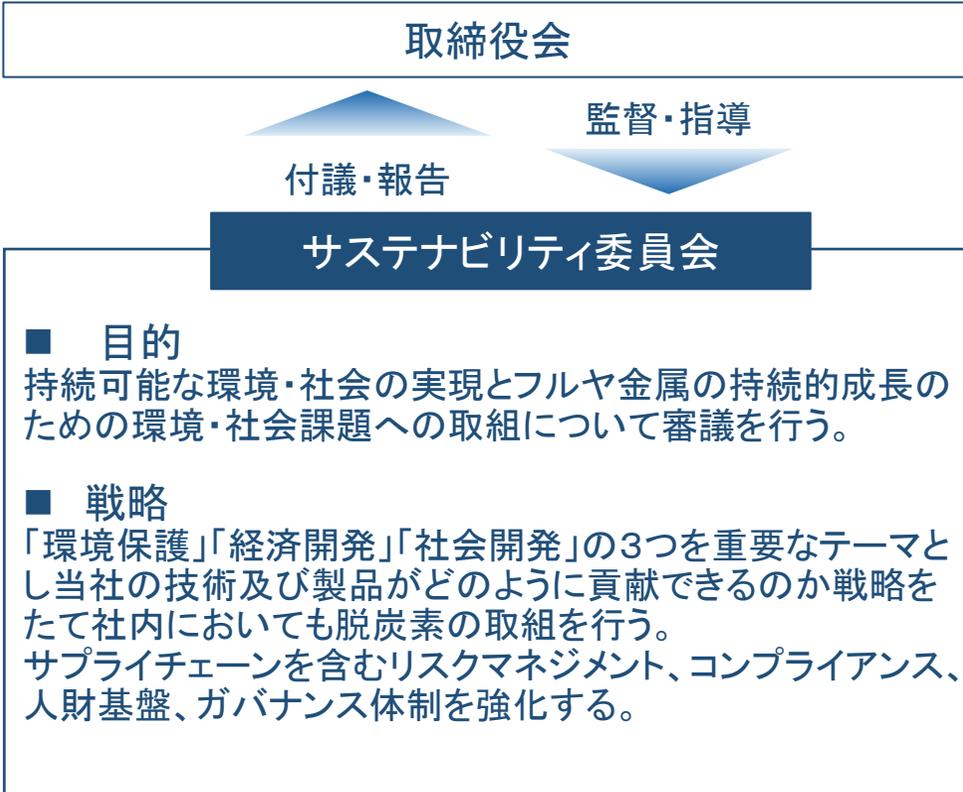
基本戦略③ー3 サステナビリティ経営の強化

サステナビリティ委員会の活動を軸に、サプライチェーンを含むリスクマネジメント、コンプライアンス、人財基盤、ガバナンス体制など、一連の企業統治システムの整備・強化を推進

サステナビリティを支える3つの柱



サステナビリティの推進体制



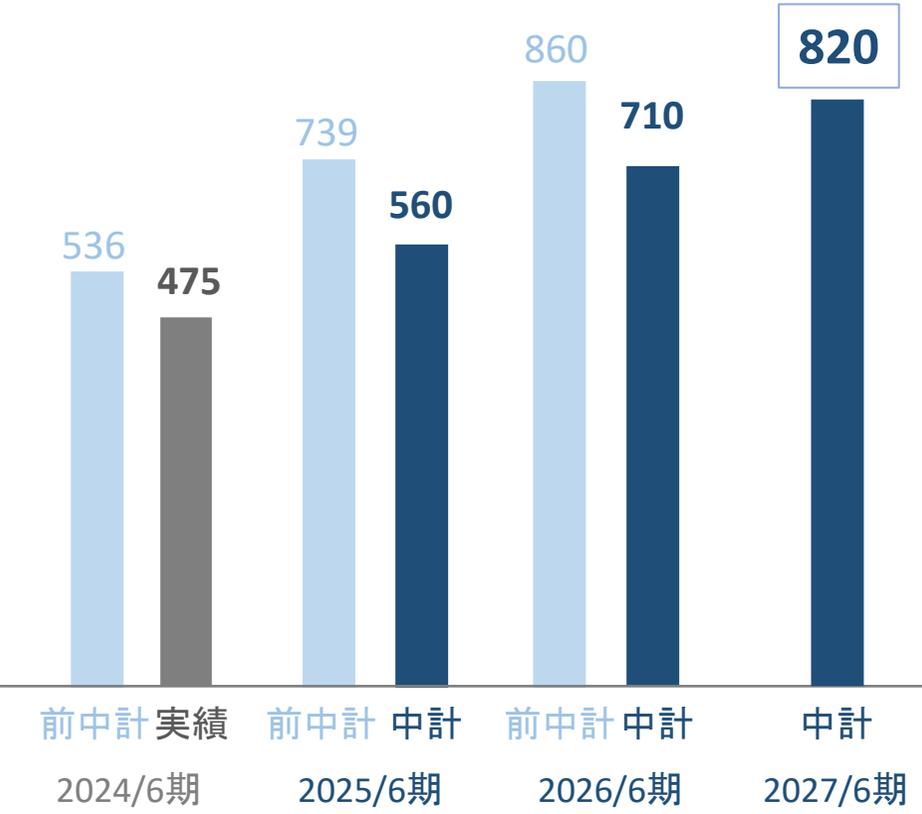
サステナビリティに関する考え方は以下の当社HPをご参照
<https://www.furuyametals.co.jp/sustainability/idea.html>



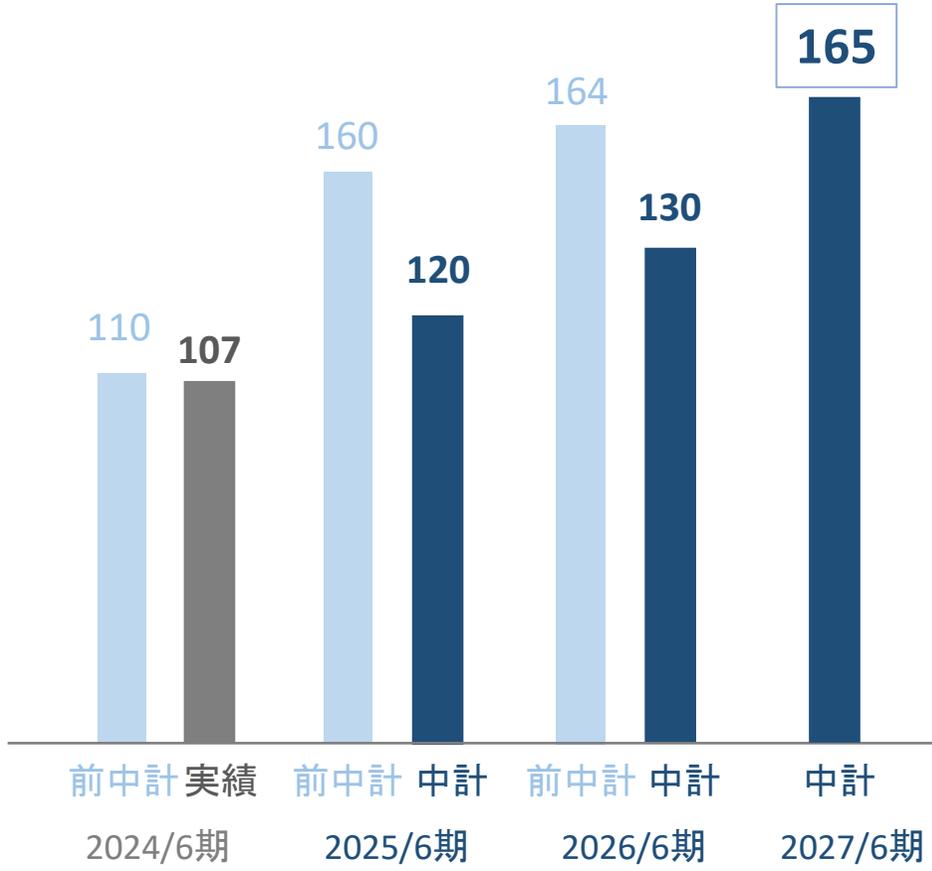
3年後の目指す姿

半導体不況・在庫調整影響による落ち込みから回復し、前中期経営計画を1年遅れでキャッチアップ『デジタル社会の進展』・『グリーン社会への転換』に貢献すべく、電子材料・半導体・化学等さまざまな産業分野に高機能PGM製品を供給する“5本柱経営”を進化させる

売上 (億円)



経常利益 (億円)

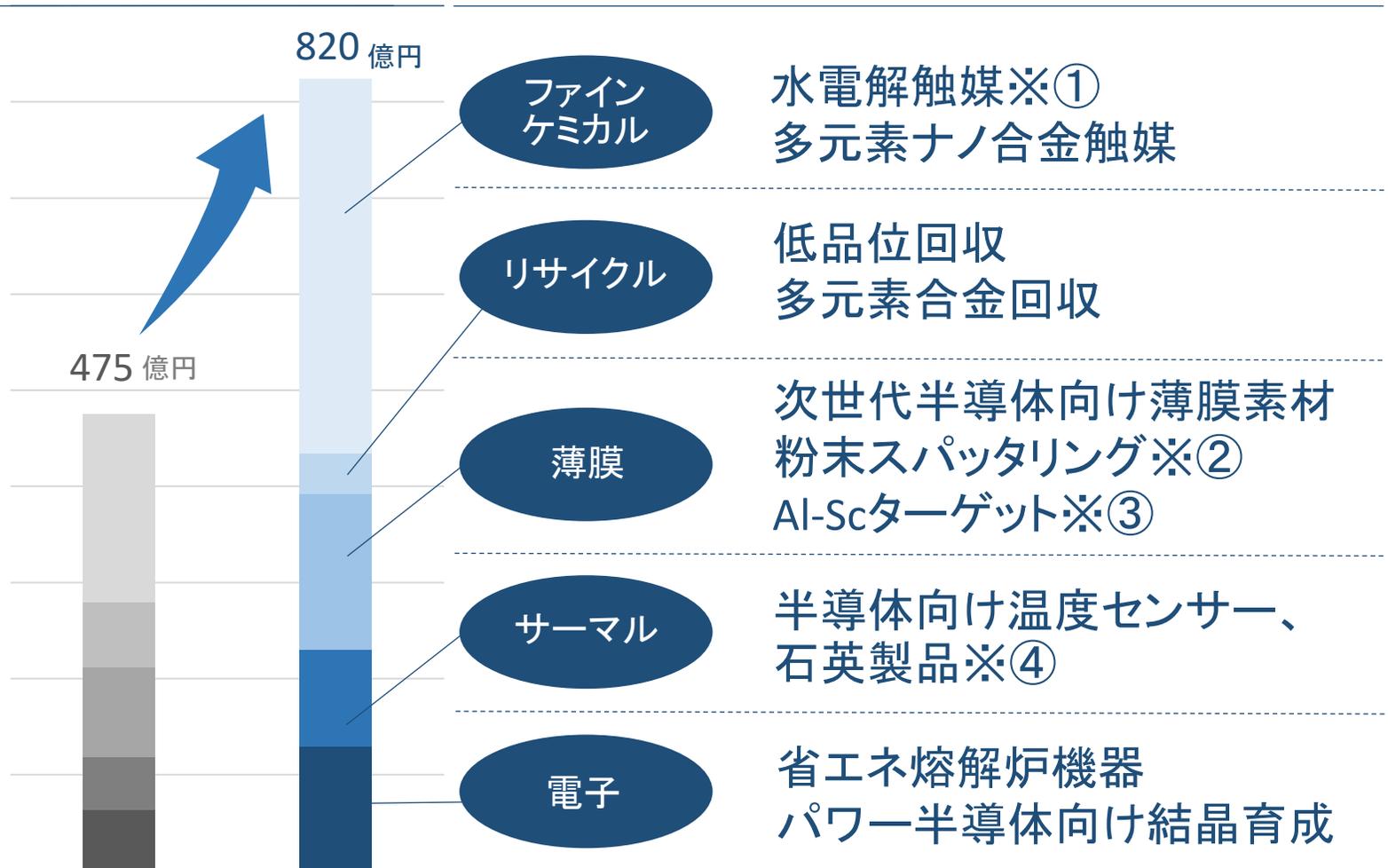


“5本柱経営”の進化

デジタル社会の進展、グリーン社会への転換に貢献すべく
 “5本柱経営”を進化させ、新しい柱の創出を目指す

セグメント売上高

成長ドライブ



ファインケミカル・リサイクル
 薄膜
 サーマル
 電子

グリーン社会への転換／デジタル社会の進展

2024/6実績 ~ 2027/6計画

※次ページ以降で紹介



PGMを活用した幅広い技術・製品

技術進化に対応し、デジタル・グリーン社会を支える製品開発を継続

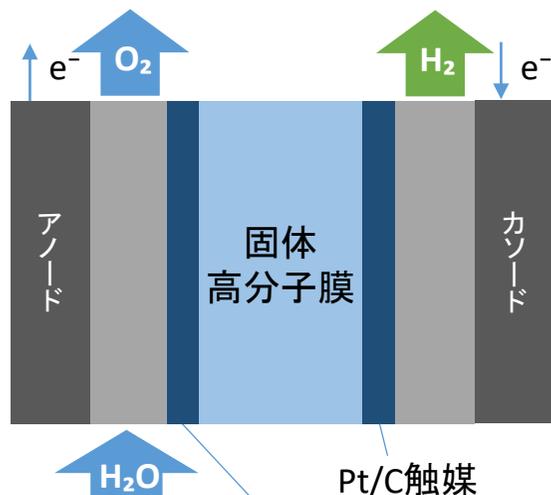


成長ドライブ① 水電解触媒

水素社会へのキーマテリアル(酸化イリジウム)

カーボンニュートラルの実現に向けて、グリーン水素の重要性が近年世界的に高まっています。当社はPEM型水電解装置に使用されるイリジウム触媒を2025年からいち早く量産化し、さらにイリジウム含有量を低減した次世代触媒の開発を通じて水素社会の発展に貢献してまいります。

PEM水電解システム



酸化イリジウム触媒



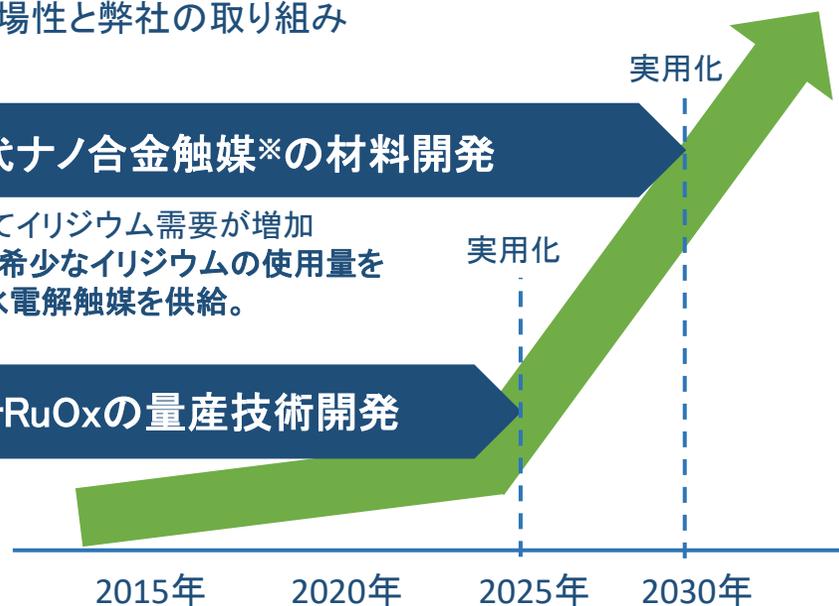
グリーン水素の市場性と弊社の取り組み



次世代ナノ合金触媒※の材料開発

グリーン水素の普及に伴ってイリジウム需要が増加
⇒触媒の多元素化によって希少なイリジウムの使用量を低減することで、持続的に水電解触媒を供給。

IrO₂・IrRuO_xの量産技術開発



グリーン水素・PEM型水電解とは？

グリーン水素: 風力・太陽光等の再生可能エネルギー由来電力から水の電気分解によって、製造工程からCO₂を発生せずに製造された水素。

PEM型水電解: 固体高分子膜(PEM)を用いた水電解方式で、酸素発生反応用触媒としてイリジウムが使用されています。再生可能エネルギーの出力変動に対して良好な追従性を持つことから、有望なグリーン水素製造技術として注目されています。

※本研究は環境省「令和4年度地域資源循環を通じた脱炭素化に向けた革新的触媒技術の開発・実証事業」の中で取り組んでおります。

粉末スパッタリングによる機能性材料開発

当社は三菱商事RtMジャパン株式会社と革新的な粉末スパッタリングの量産装置を開発しました。本技術はナノ粒子を粉末表面に均一にコートすることを特徴とした先進技術です。高機能電子材料や触媒などの新規材料探索から量産対応まで、幅広いお客様のニーズに応じて参ります。

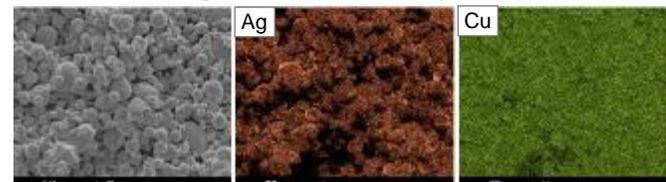
■粉末スパッタリング量産装置



粉末スパッタリング:「粉体」に薄膜を形成する精密加工技術

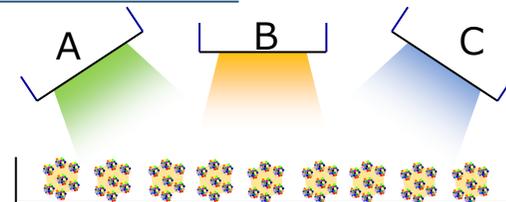
■コーティング後の粉末画像

(SEM-EDS) Ag膜 5 nm / Cu粉 5 μm



サブミクロンレベルの粉体に金属膜などを均質にコーティング可能

■コーティングのイメージ



積層膜や合金など、多彩な薄膜コーティングが可能

高機能化粧品



次世代電池



対象分野(例)

電子部品材料



超硬工具



高機能磁石



成長ドライブ③ AI-Scターゲット

アルミスカンジウム (AI-Sc) が変える未来

アルミニウムスカンジウム (AI-Sc) ターゲットは、おもに5G向けの携帯電話などに使用され、5Gの発展を支える重要な要素となっています。

今後普及が見込まれる自動運転や、6Gへの展開も期待されています。当社ではAI-Scターゲットの材料安定供給・量産体制構築に取り組んでいます。



5Gデバイス出荷台数



アルミスカンジウム (AI-Sc) ターゲットとは？

窒化アルミニウムスカンジウム (AlScN) は、圧電材料*1として優れた特性を持ち、特に3GHz以上の周波数帯で使用される高周波デバイスに使用されています。AlScNの素子はスパッタリング法*2で形成されるため、アルミニウムとスカンジウムが混ざり合ったスパッタリングターゲットが必要になります。

*1 圧電材料：圧力と電気を相互に変換可能な「圧電効果」を持つ材料

*2 スパッタリング法：真空中でターゲット材料粒子をプラズマ化して基板に付着させることで薄膜を形成する技術

成長ドライブ④ 新千歳工場建設

先端半導体に不可欠な温度センサー・石英製品

現在生成AIの需要増などを背景に半導体市場の急速な成長が見込まれています。

とりわけ重要視される先端半導体製造には精密な温度管理が求められており、当社の温度センサー及び石英加工製品が必要とされています。当社では2026年新千歳工場完成を目指し、これらの需要拡大に対応していきます。

半導体市場規模

※当社推定



各種熱電対製品



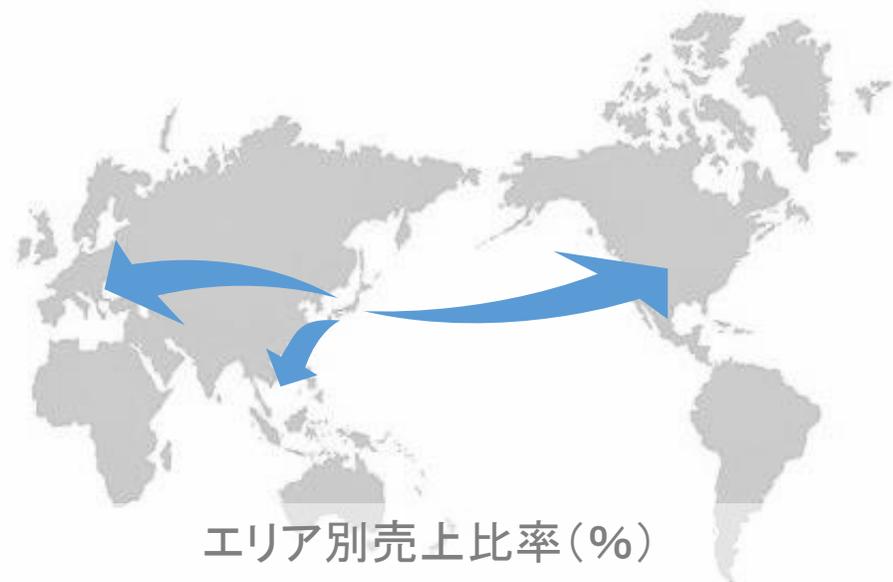
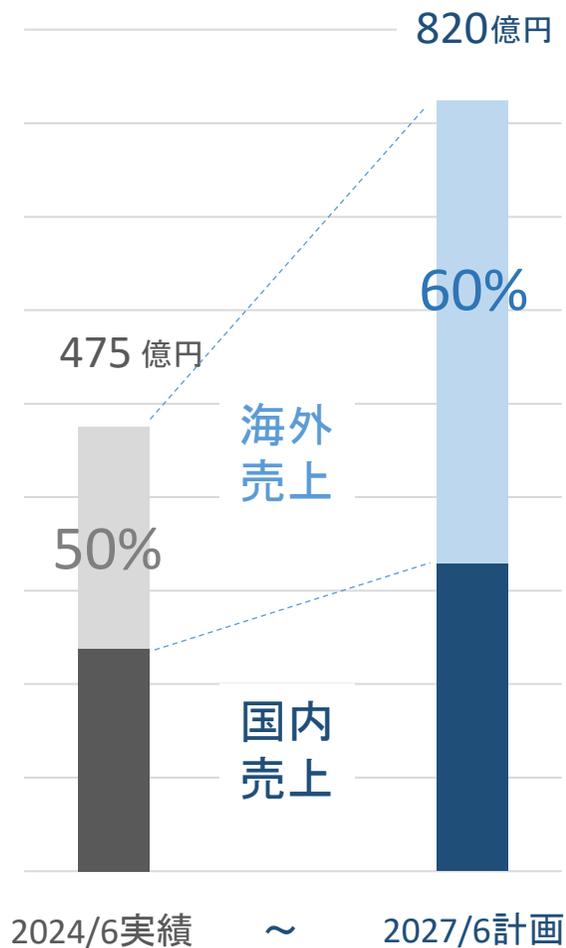
石英加工製品



※本投資は経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」にも採択されております。

海外売上比率

デジタル社会とグリーン社会を牽引する国内外のリーディングカンパニーとの取引を拡大



エリア別売上比率 (%)

エリア	2024/6実績	2027/6計画
北米	17	20
欧州	12	15
アジア他	21	25
日本国内	50	40
	50	60

ものづくり成長投資

向こう3年間で155億円を計画

つくば工場拡張、千歳新工場建設を予定、デジタル向け事業投資を加速

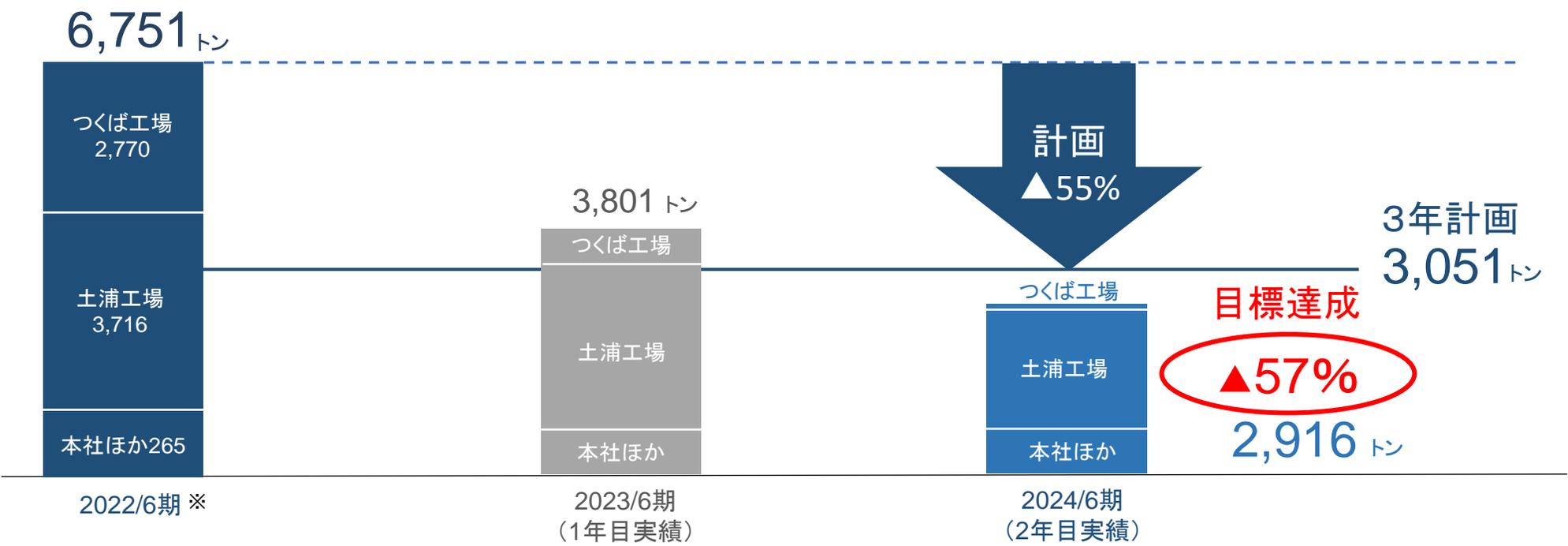
		2024/6		2025/6		2026/6		2027/6	3カ年累計
		前中計	実績	前中計	中計	前中計	中計	中計	(億円)
新素材・新製品	デジタル	10	11	5	13	7	43	12	101
	グリーン	24	15	8	16	5	9	8	
効率化/高度化		6	4	3	4	1	7	6	17
ものづくり基盤 経営統合システム・インフラ等		7	7	2	27	2	6	4	37
計		47	37	18	60	15	65	30	155

CO₂ 排出量削減

指標及び目標

再生可能エネルギー100%の電力調達を通じて、つくば・土浦両工場でのCO₂排出量ゼロ化をほぼ達成。経済産業省より令和5年度事業者クラス分け評価制度(令和4年度実績)においてSクラス認定(優良事業者)※を3年連続で獲得しました。引き続き設備機器の更新等を通じ一層の省エネを推進します。

※Sクラス認定: 努力目標やベンチマーク目標を達成している企業を認定
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/institution/index.html



令和5年度Sクラス認定(令和4年度実績・3年連続)



財務指標

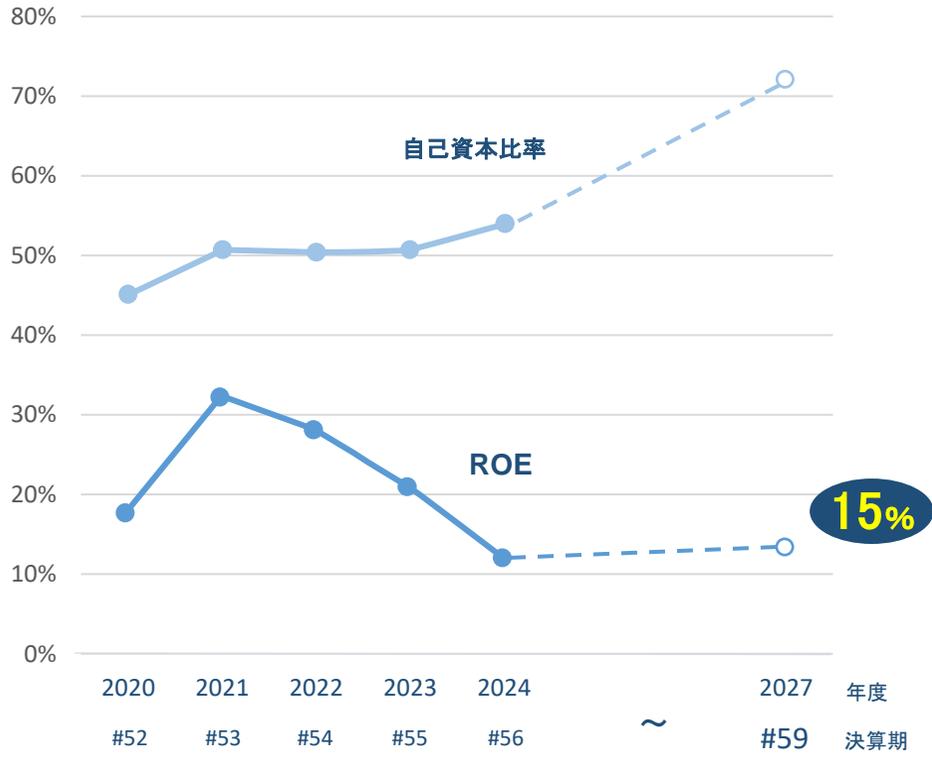
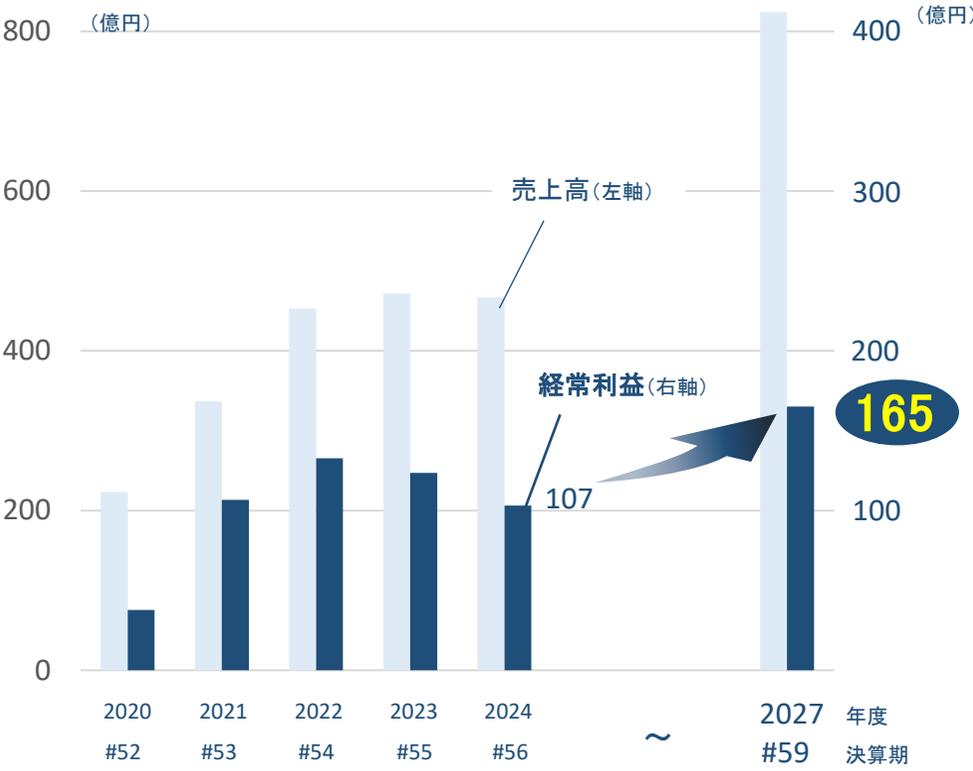
経常利益 **165** 億円

ROE **15** %

配当性向 **安定二桁** %

3年後経常利益165億円を目指します

創出付加価値からの安定配当を目指します



主要数値

(億円)

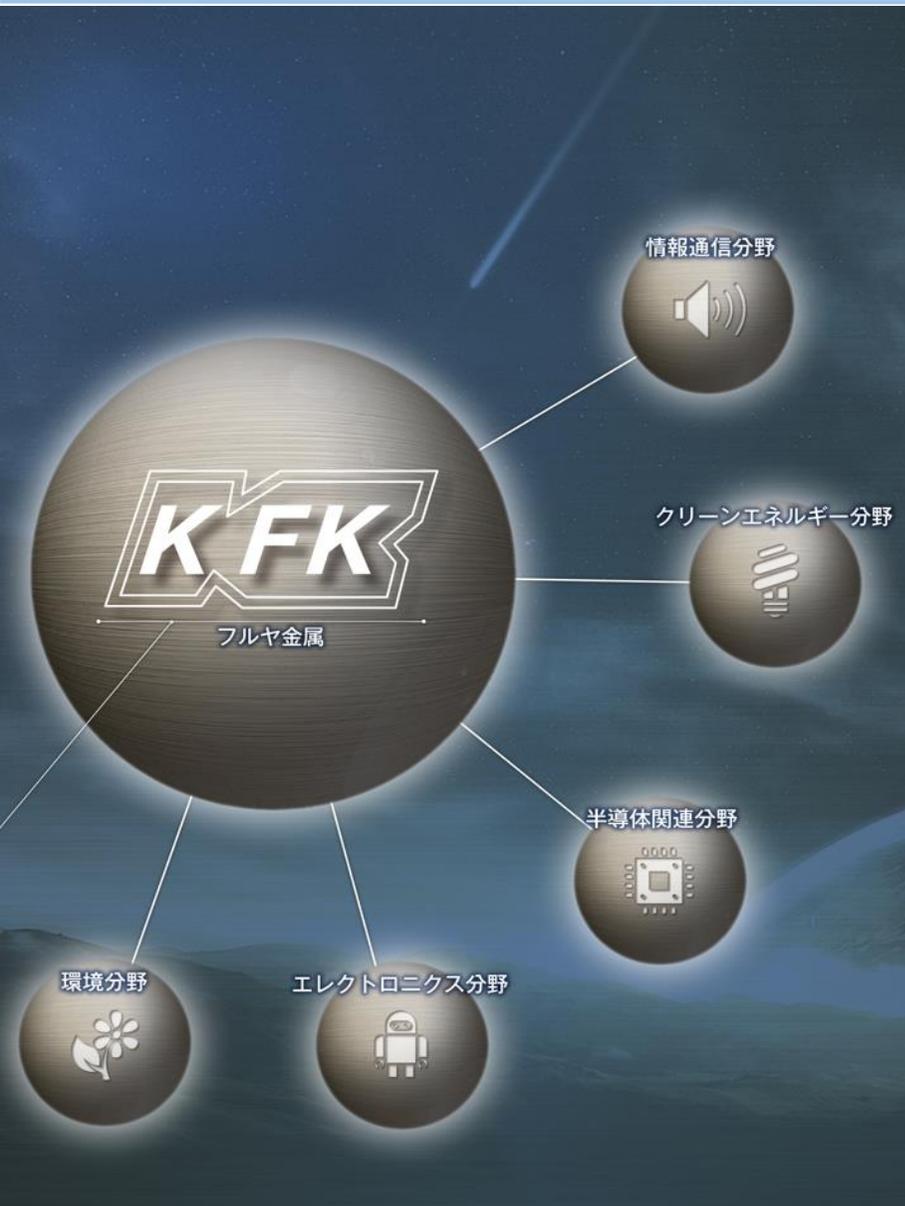
	2024/6実績	2025/6計画	2026/6計画	2027/6計画
売上高	475	560	710	820
経常利益	106	120	130	165
当期純益	74	84	90	115
営業CF	+32	+40	+105	+140
総資産	1,127	1,170	1,170	1,180
純資産	605	670	740	830

前提条件： 連結ベース 為替1US\$=145円

2025/6期 Ir 4,500 US\$ / toz Ru 1Q 350, 2Q以降400 US\$ / toz, 2026/6期 Ir 4,500 US\$ / toz Ru 400 US\$ / toz, 2027/6期 Ir 4,500 US\$ / toz Ru 400 US\$ / toz



注記事項



注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

株式会社フルヤ金属

管理本部 総務・CSR部

TEL : +81-3-5977-3377

E-mail : ir@furuyametals.co.jp

Webサイト : <https://www.furuyametals.co.jp/>